

消防第3014号
平成19年1月12日

中国電力株式会社
取締役社長 山下 隆 様

島根県知事 澄田 信義
(総務部 消防防災課)

発電施設におけるデータ改ざん等の問題について

平成18年11月10日に貴社から報告を受けた土用ダム測定値の改ざんをはじめ、相次いで発覚した下関発電所温排水問題、西郷発電所のばい煙濃度の規制値超過問題などについては、公益事業を担う電力会社にはあってはならないことであり、地域と共に歩む企業としての自覚が欠如していたと言わざるを得ません。

とりわけ本県においては、島根原子力発電所1、2号機の営業運転が行われ、更に3号機建設やプルサーマル計画が進められているところであり、安全性の確保など適正な事業運営による地域との信頼関係の確保が不可欠であります。

今回のデータ改ざん等の問題は、これまで培われてきた地域との信頼関係を損ない、島根原子力発電所などの諸施設の安全管理体制について県民に疑念を抱かせるものであり、誠に遺憾であります。

二度とこのようなことが起きないように全社を挙げて再発防止策に真摯に取り組み、企業倫理の確立が図られるよう申し入れます。

なお、島根原子力発電所を含む全社的な総点検結果や再発防止対策の取り組み状況について適宜報告するとともに、県民に分かりやすい形での情報公開を行い透明性を確保するよう重ねて要請します。